

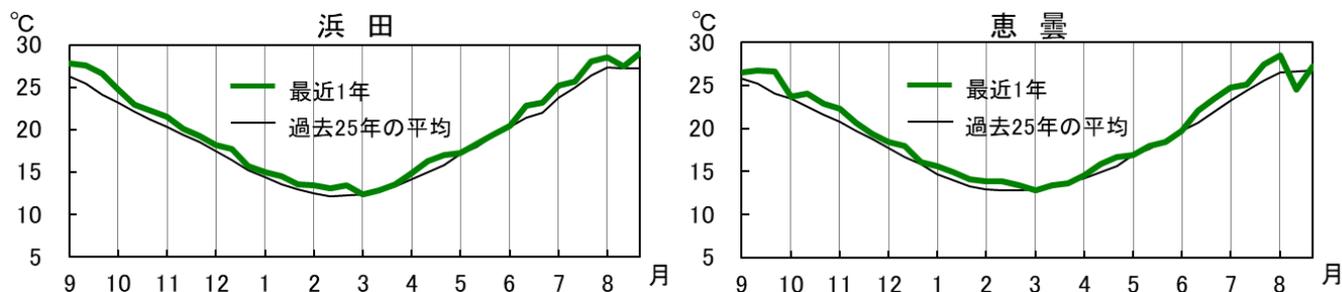


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	28.3℃	+1.1℃	かなり高め	26.9℃	+0.3℃
中旬	平年並み			やや低め		
下旬	やや高め			平年並み		



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の4割、サバ類は平年の6割でした。隠岐地区ではマアジ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は23.4トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,765トンで平年の3.6倍、サバ類は446トンで平年の1.4倍、ブリは435トンで平年の6割となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は195.7kgで平年の約3.4倍となりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は118.6kgと、平年の1.4倍の水揚げとなりました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、キダイ、マダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は7.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカムツは平年の4割、キダイは平年の2.0倍、マダイは平年の2.4倍でした。その他、チダイは平年の18倍、カワハギ類は平年の1.9倍、ヤナギムシガレイは平年の1.1倍と好調でしたが、マトウダイは平年の1.0倍、マアジおよびアンコウ類は平年の5割、ケンサキイカは平年の3割の水揚げでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイ主体の漁況で、1隻1航海当たりの漁獲量は1.0トンで平年の1.0倍でした。エッチュウバイの漁獲量は18.3トンで平年の1.1倍、銘柄別では「中」「中大」及び「大」の3銘柄で全銘柄の9割弱を占め、特に「中大」は6.7トンで平年の1.3倍、「大」は6.2トンで平年の1.2倍でした。

【しいら漬け漁業】

石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は131kgで平年2割ほどの水揚げでした。魚種別の漁獲量の動向は、シイラ、ヒラマサが平年の1割未満、カワハギ類は平年の2割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.3トンで平年の7割でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2.6倍、マアジは平年の6割でした。石見地区ではサバ類、カンパチ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は9.3トンで平年の1.0倍でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.2倍、カンパチは平年の2.1倍、マアジは平年の1.8倍でした。隠岐地区ではヒラマサ、ブリ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は5.5トンで平年の7割でした。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の2.1倍、ブリは平年の3割、イサキは平年の1.4倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.2kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の0.8倍、キダイは平年の1.5倍でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.7kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.0倍でした。隠岐地区では、スルメイカ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.7kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の13.8倍、カサゴ・メバル類が平年の1.4倍でした。

【令和6年8月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、サバ類、ブリ	2,809トン	109%	109%	23.4トン	94%	95%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	14.7トン	854%	486%	195.7kg	273%	343%
	西郷	スルメイカ	10.6トン	981%	184%	118.6kg	220%	136%
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、キダイ、マダイ	84.8トン	83%	67%	7.1トン	76%	63%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	19.3.トン	77%	110%	1.0トン	73%	96%
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ、カワハギ類	655 kg	—	4%	131kg	—	18%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ	133トン	61%	69%	10.3トン	61%	69%
	石見	サバ類、カンパチ、マアジ	37.1トン	287%	100%	9.3トン	215%	98%
	隠岐	ヒラマサ、ブリ、イサキ	16.5トン	193%	70%	5.5トン	193%	70%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、キダイ	26.1トン	82%	91%	18.2kg	100%	97%
	石見	ケンサキイカ	29.9トン	89%	107%	19.7kg	101%	109%
	隠岐	スルメイカ、カサゴ・メバル類	14.7トン	135%	106%	23.7kg	125%	130%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ